

# 連合

# esen

## No. 112

【2017.2.23】

連合岩手気仙地域協議会  
大船渡市猪川町前田 9-17  
TEL/FAX 0192-27-8671  
ホームページ：  
<http://www.rengo-iwate.jp/>

発行責任者：梅木 博  
編集責任者：星 正和



### 情報交換会

二〇一七春季生活闘争を迎え、交渉単位毎単組二名程度の出席要請をして情報交換会を実施。単組を取り巻く状況や賃上げ・環境改善要求、職場現状等を共有した。主な内容は次ぎのとおり。

△会場単組▽  
二月六日 五単組一〇名  
△賃上げや一時金要求の考え方 △退職日・年休切替の設定日 △勤務管理の現状 △各種手当通勤・住宅・家族・年度末等 △通勤手当の算出 △最賃との整合性 △年休の取得単位・活用状況：等。

△本部交渉単組▽  
二月七日 六単組一〇名  
△定昇確認十アアの要求 △ハンドルの限度時間ぎりぎりの勤務設定 △免許取得要件で人員確保も困難 △有期労働契約の無期転換 △ボランティア休暇・介護休暇の運用 △ジョブリターン制度の提案 △太陽光・バイオマス発電と再生ゴミの活用 △定年延長・福利厚生等の改善等。

△官公労単組▽  
二月三日 四単組七名  
△賃金・通勤手当の差額支給 △事務職員との賃金格差 △時間外労働の管理体制 △安全衛生委員会の設置 △能力評価の運用と人材育成 △特殊勤務手当の合理性 △メンタルヘルス対策の検証：等。



### 東日本大震災復興状況の実態調査

連合本部は、二月一日、震災後の復興状況・課題を調査するため、気仙地域の関係機関を訪問・視察をした。前日の夕方は、大船渡に入り、地協役員・推薦議員との意見交流を実施した。

気仙地域の調査訪問には、連合本部から内藤経済政策局長、吉住雇用対策局長ら五名、連合岩手大槻副事務局長、星事務局長が同行した。

大船渡商工会議所では、齋藤会頭から挨拶を受け、街区の整備状況、販路の回復・開拓事業、雇用情勢、補助金の適正性等の説明を受けた。

大船渡市役所では、戸田市長をはじめ各部課長が同席、復興状況に関する一三項目の質問に、復興計画の進捗や農林水産物の風評被害、市職員の人材育成等について、戸田市長からは、人口減少問題や外国人研修生の活用などの諸課題を政府への要望に反映させるよう求められ、本部と意見を交換した。

### 地域討論集会

討論集会には、連合岩手原副事務局長が出席し、「第四一回地方委員会」で連合岩手の春季生活闘争方針を確認した。地域最賃は七六円、東京は九三円、時給で二四円の差、三六、一八八円月の差がある。労働時間は全国で一番長く、八八二時間。働くことを軸とする安心社会の実現に向けて取り組みを進めよう」と訴えた。

星事務局長は、要求目安額一一、三〇〇円の設定、春闘

の山場は三月五日、地域ミナム運動の結果として県内の賃金実態を紹介。二〇一七春季生活闘争の意義と課題、付帯要求の取り組み、政策・制度の提言に対する県・自治体の回答を紹介した。

単組からの課題報告では、▽伊藤（開発鉄道労組）さんから情報交換会の状況と東北地方私鉄は五産別の共闘方式で闘ってきた：等。

▽伊藤（JP労組）さんは、有期が全員無期契約になる、半日休を創設、春闘に向けた諸行動（家族も含めた署名活動、決議文の送付：等）

▽遠藤（住田町職労）さんからは、人事評価制度導入（八年の運用課題、人員確保と労働環境改善を重点に交渉をする等の報告を受けた。

最後に梅木議長代行が団結カンパニーで締めくくり、春季生活闘争に勝利する決意を固めあった。

### 連合労働相談ホットライン

0120-154-052

雇用の不安 雇い止めの不安はありませんか？

### クラシノコアゲ 介護休暇 応援団

## 仕事と介護の両立はもう限界！

### 働き続けられる職場を

年間10万人の介護離職などが社会問題となる中、介護分野を中心に育児・介護休業法が改正されました。

今後も高齢者人口は増加し、介護ニーズのさらなる増加が推測されています。連合の調査でも40歳以上の労働者の約6割が近い将来「介護することになる」と想定し、約9割が介護に不安を抱えています。

介護経験者では、「仕事をやめようと思ったことがある」人が約3割にのぼり、安心して仕事と介護を両立できる就業環境の整備が必要不可欠となっています。

育児・介護休業法は、2017年1月1日から改正施行されました。

要介護状態にある対象家族を介護する労働者は、1年度において5労働日（要介護状態にある対象家族が2人以上の場合は10労働日）まで、当該家族の介護、通院等の付き添いその他の世話のための休暇を取得することができます。

半日（所定労働時間の2分の1）取得が可能です。

また、労使協定により所定労働時間の2分の1以外の時間数を半日と定めることも可能です。

対象家族：  
配偶者（事実婚を含む）、父母、子、配偶者の父母、祖父母、兄弟姉妹、孫  
対象労働者  
要介護状態にある対象家族を介護する男女労働者（期間雇用者を含む）



た。終了後、市議会事務局に立ち寄り復興状況を伺った。

大船渡社会福祉協議会では、寺澤事務局長と担当者に、対応頂き、訪問・サロン活動、災害住宅の弊害、生活困窮者自立相談支援事業の実施状況等の報告を受けた。

陸前高田市に移動し、観光物産協会にガイドをお願ひし、被災時の状況を説明し、被災者等を感じて一関経由で帰京した。

連合本部は、被災地の課題を再確認し、政府・政党などへの政策提言につなげる。

### 役員選挙

## 委員会を設置

二月一六日、第一回役員選挙委員会を開催し、構成と委員を確認した。今後、欠員となつてきている議長の補充を優先して選挙作業に取り組み。役員選挙委員会の構成は、以下のとおり。

△委員長：菅野将明（化学資源工ネルギー部門）△副委員長：菊地正徳（官公部門）△委員：金野真弥（繊維食品一般部門）、吉田貴俊（交通運輸部門）、伊藤幸（情報流通サービス部門）△事務局：星正和（地協事務局局長）

任期は、次期委員が選ばれる日まで、会は常設。

「前回の続き」  
当時スキーの帰り道、圧雪でタイヤをロックさせてしまいスリップ。左折を曲がれず、まっすぐガードレールへキス。ブレーキの力の調整が出来なかった。

フジヨーでのブレーキ。二割踏み込めば二割、五割踏み込めば五割効く。きちんと止まりたい場合は奥までしっかりと踏み込まないと止まらない。効き方が「じわ」と効くような感じ。ペダルを踏み込んでいく過程で力加減が調整できるのです。スイッチ的な感覚のトヨタ車と比べると、雪道のような、滑りやすい道路での安心感はまったく違ったのである。

そうなること、事はブレーキの話にとどまらずハンドル操作、サスペンション、シートにと車全体に拘りが出てきてしまった。要するに西洋かぶれにかかっちゃたんです。

運転してみても感じる部分、ブレーキの力の合、かき具合、エンジンの出力の出力、ハンドルの切ったときのサスペンションの沈み方等、車を作った人々が、こういう風に運転すれば気持ちいいんだよと、車が話しかけてくる感覚があつて気持ちがいい。退屈もしない。コーナーに入るたびに色々と運転の仕方を変えてみたくなる。ヨーロッパ車の上手なところだと思いつつ、年々かかっている。自動車の税金は、三年過ぎると一〇%上がるって知ってますか？でも乗ってます。 博・し



### らど

Id 03